

# 熱海市内別荘等所有者 ＜2021年度アンケート調査結果＞

2021年9月30日

株式会社 JTB静岡支店

# 調査概要



ジャカラダ遊歩道

別荘専用ホームページ

『熱海別荘LIFE』のご案内  
<https://www.ataminews.gr.jp/bessou/>

ジャカラダの荘

熱海市に別荘をお持ちの方へ

熱海別荘LIFEは、熱海市に別荘をお持ちの皆様へ向けたホームページです。  
熱海市内だけでなく周辺市町の観光スポットやイベント情報、お泊り時に必要な生活支援情報などを発信しております。

特選!! 熱海のスイーツプレゼント  
(1,500円相当プレゼント) ※送料をきめます。

アンケートにご協力いただいた方  
先着200名様にもれなく当たります!

アンケート回答期限：2021年7月31日まで

(株)熱海市観光課 観光推進課 ☎0557-466100 ✉bessou@city.atami.gr.jp

## 1. 調査名

熱海市内別荘等所有者アンケート調査

## 2. 調査の目的

アンケート調査により別荘所有者のニーズを把握し、  
来訪頻度を高める施策の基礎データとする。

## 3. 調査実施期間

令和3年6月 ～ 令和3年7月31日

## 4. 調査方法

QRコード読み取りによるWEBアンケート。

令和3年6月に送付した別荘等所有納税通知書に同  
梱した別荘LIFEチラシのQRコードより、ご自身のス  
マートホンやパソコンからアクセスしていただいた。

## 5. 回収結果

N=1275

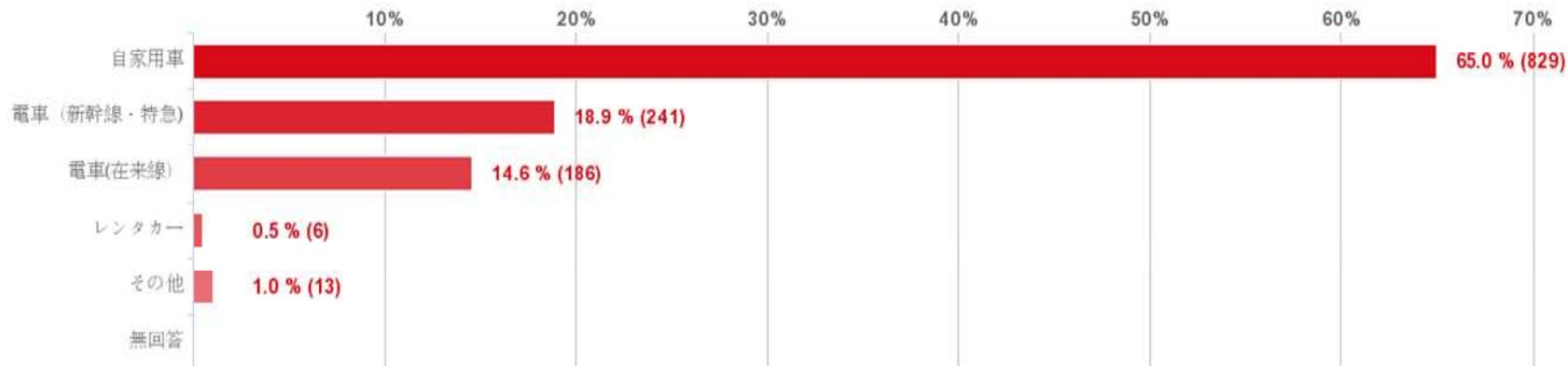
# 質問内容

Q1	熱海を訪れる交通手段は何ですか？
Q2	熱海を訪れたあとの交通手段は何ですか？
Q3	熱海を訪れる際の主な同行者は？
Q4	熱海の1回あたりの滞在期間は？
Q5	熱海への来訪頻度は？
Q6	去年の年間来訪回数は？
Q7	熱海滞在中の主な過ごし方は？【複数回答】
Q8	熱海滞在中の行動範囲は？【複数回答】
Q9	滞在中に熱海以外を訪れる主な目的は？【複数回答】
Q10	滞在中の食事の取り方は？【朝昼夕、それぞれ回答】
Q11	(昼で外食を選んだ方) 外食でよく行く飲食店は？
Q12	(夕で外食を選んだ方) 外食でよく行く飲食店は？
Q13	(昼で外食を選んだ方) 一人当たりの平均予算は？
Q14	(夕で外食を選んだ方) 一人当たりの平均予算は？
Q15	滞在中に熱海市内で使う買い物、土産等の予算は？
Q16	熱海滞在の総予算はどれくらいですか？
Q17	以下の熱海に関する画像のうち、知っているものや見たことがあるものにチェックしてください。
Q18	熱海滞在に必要な情報は充分得られていますか？
Q19	別荘等に滞在するにあたり、不足している情報、より必要と感じる情報を選んでください。
Q20	年代
Q21	性別

# 調査結果

Q1. 熱海を訪れる交通手段は何ですか  
(回答数: 1275)

- ・自家用車
- ・電車(新幹線・特急)
- ・電車(在来線)
- ・レンタカー
- ・その他



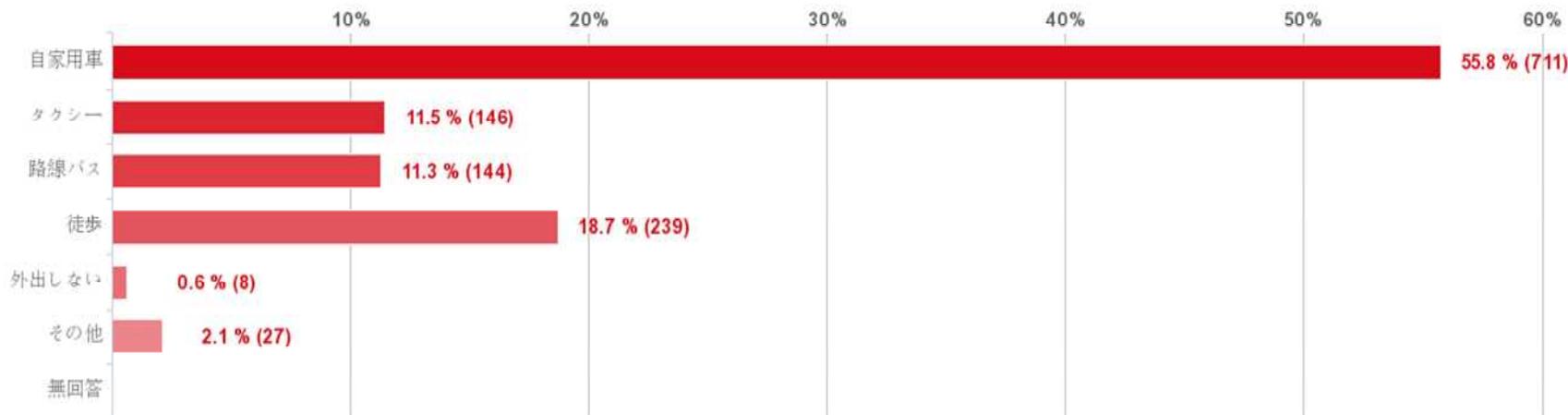
自家用車が65.0%と最多。電車は新幹線と在来線と合わせて33.5%

# 調査結果

## Q2. 熱海を訪れたあとの交通手段は何ですか？

(回答数: 1275)

- ・ 自家用車 ・ タクシー ・ 路線バス ・ 徒歩 ・ 外出しない ・ その他



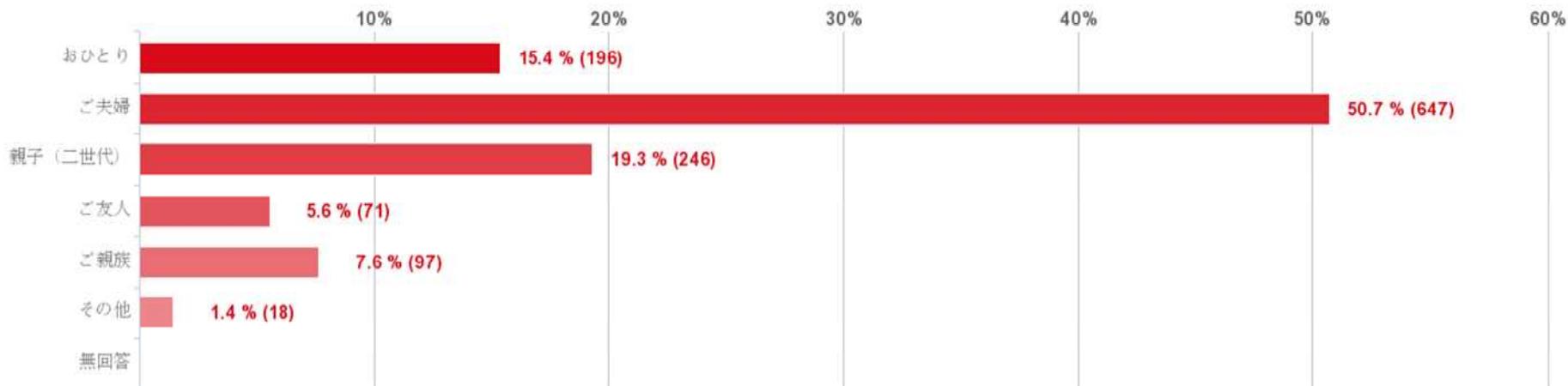
二次交通も自家用車が約6割を占め、熱海を訪れる交通手段で自動車を回答したパネルと近い数値になっている。熱海を電車で訪れる層がタクシー、路線バス、徒歩、に分散していることが伺える(合計41.5%)。電車で来訪しタクシーを利用する層は別荘等に直行し回遊(観光)していない可能性がある。

# 調査結果

## Q3. 熱海を訪れる際の主な同行者は？

(回答数: 1275)

- ・ おひとり
- ・ ご夫婦
- ・ 親子(二世代)
- ・ ご友人
- ・ ご親族
- ・ その他



夫婦での来訪が約50.7%と最も多く、次いで親子(二世代)の19.3%、全体の約8割が近親者との来訪となっている。親子(二世代)はシニアとミドルの組合せと考えられる。又、コロナ禍ということもあり、おひとりが15.4%と3番目に多い。

# 調査結果

## Q4. 熱海の1回あたりの滞在期間は？

(回答数: 1275)

- ・ 日帰り
- ・ 1泊2日
- ・ 2泊3日
- ・ 3～4泊
- ・ 5泊以上



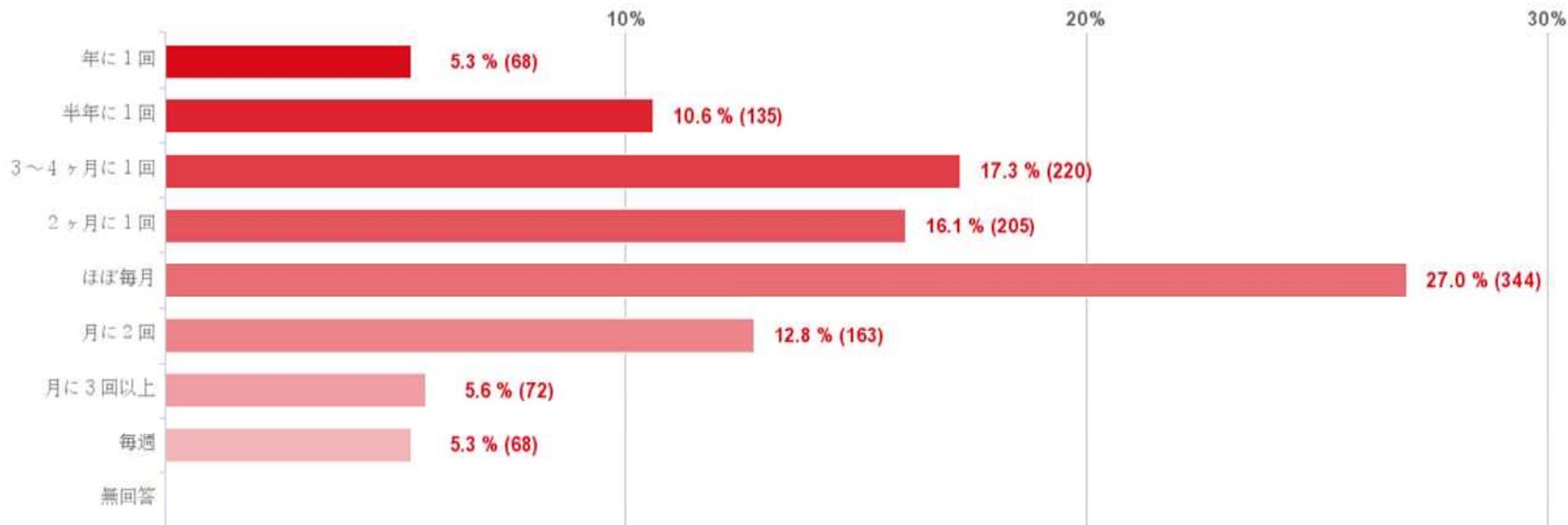
2泊3日が最も多く全体の40.3%。次いで、日帰り～1泊が30.2%、3泊～5泊以上滞在が29.4%。長期滞在は少なく定期的に短期での利用が多い。

# 調査結果

## Q5. 熱海への来訪頻度は？

(回答数: 1275)

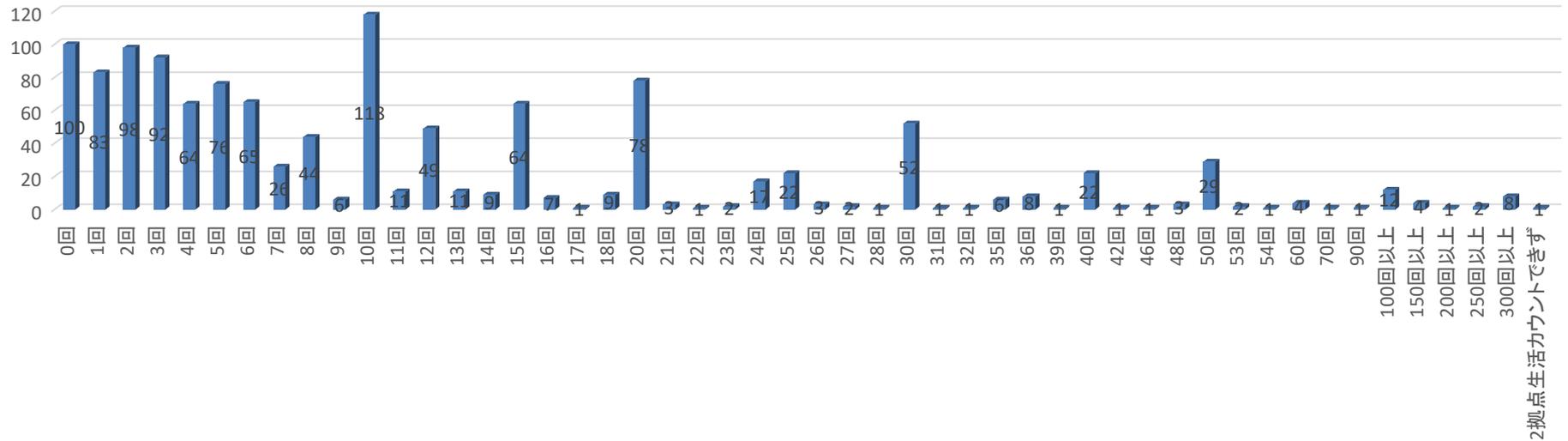
- ・ 年に1回 ・ 半年に1回 ・ 3～4ヶ月に1回 ・ 2ヶ月に1回 ・ ほぼ毎月
- ・ 月に2回 ・ 月に3回以上 ・ 毎週



ほぼ毎月が27.0%、月に2回以上が23.7%で約半数の別荘等所有者は年間を通じて習慣的に熱海市に滞在していることが伺える。

# 調査結果

## Q6. 昨年の年間来訪回数？(有効回答数: 1224)



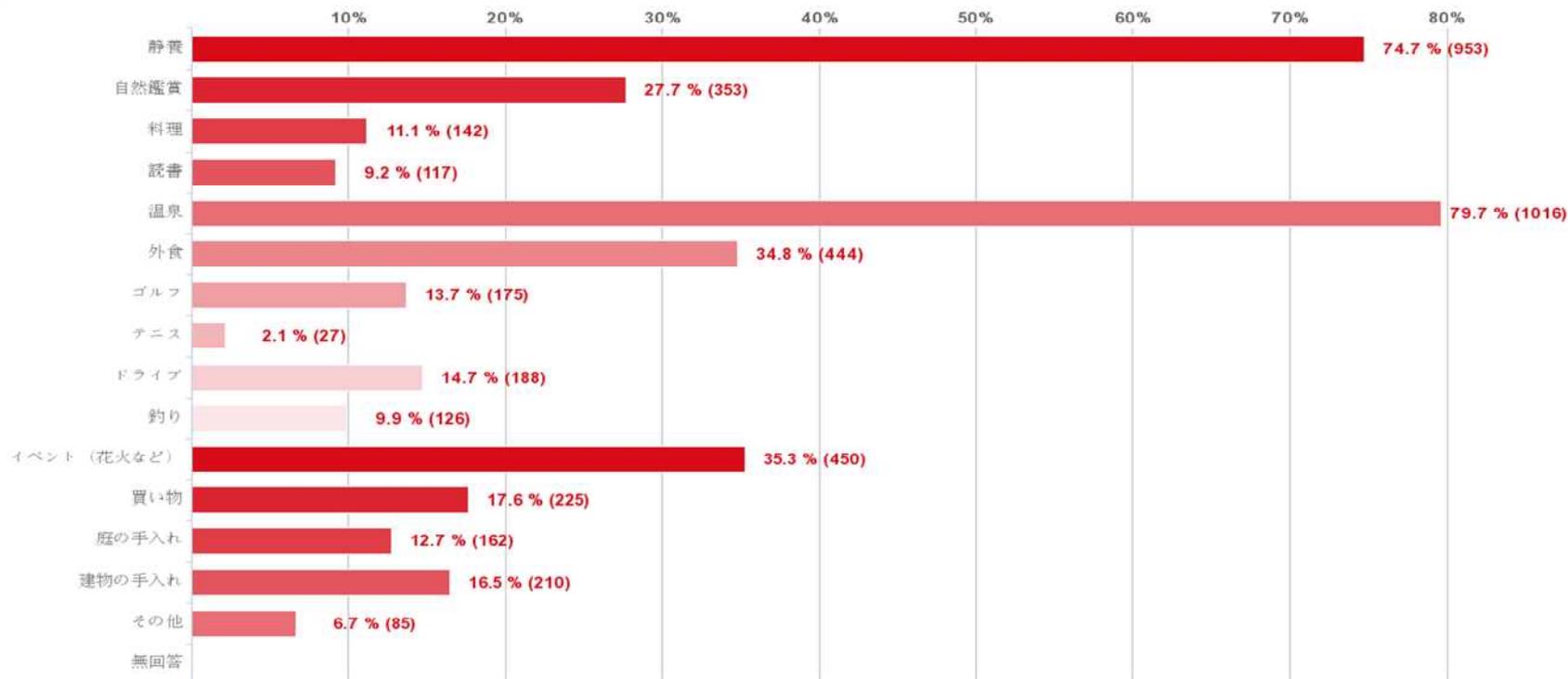
新型コロナウイルスの影響により自粛傾向にあり、年間10回が118件、次いで0回が100件。10回以下が約6割を占める。

# 調査結果

## Q7. 熱海滞在中の主な過ごし方は？【複数回答】

(回答数: 1275)

- ・静養・自然鑑賞・料理・読書・温泉・外食・ゴルフ・テニス・ドライブ・釣り
- ・イベント(花火など)・買い物・庭の手入れ・建物の手入れ・その他



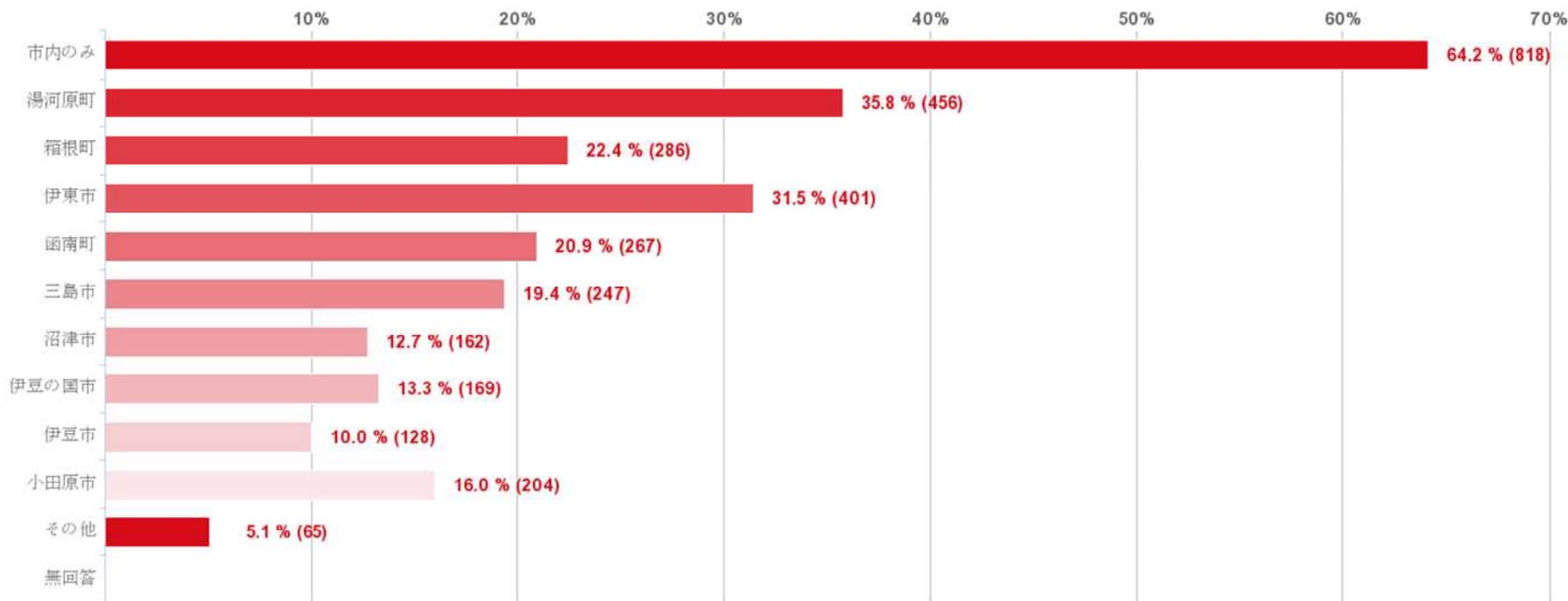
温泉と静養が主流であり、次いでより具体的な目的として、外食とイベント(花火)が顕在化している。全体的に、花火などのイベント時にゆっくりと過ごしす為の来訪が考えられる。

# 調査結果

## Q8. 熱海滞在中の行動範囲は？【複数回答】

(回答数: 1275)

- ・市内のみ・湯河原町・箱根町・伊東市・函南町・三島市・沼津市・伊豆の国市
- ・伊豆市・小田原市・その他

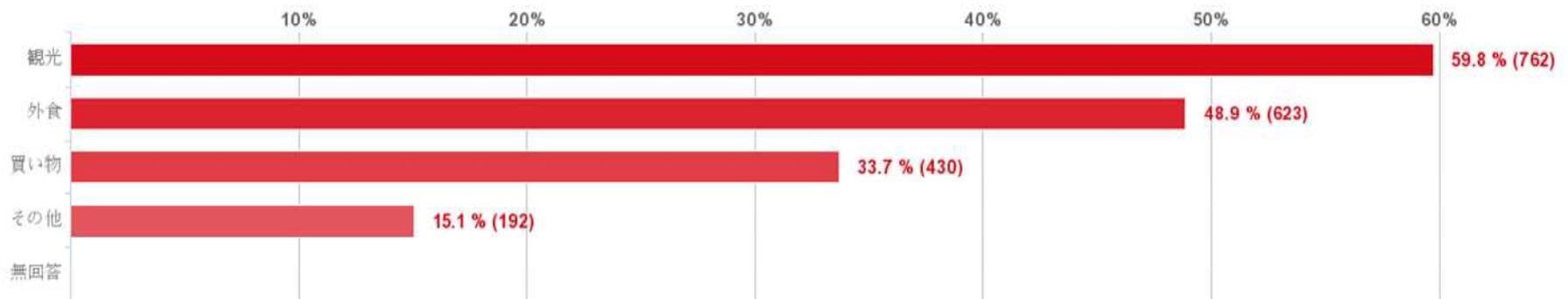


最も多いのが熱海市内のみに滞在する層。次いで湯河原、伊東市、函南で熱海市に隣接している市町が多い。短期的な熱海滞在で少し近隣の街に出かけると考えられる。

# 調査結果

Q9. 滞在中に熱海以外を訪れる主な目的は？【複数回答】  
(回答数: 1275)

・ 観光 ・ 外食 ・ 買い物 ・ その他



約6割が観光、次いで外食。観光と外食が主な目的である。  
近隣の街へは観光と外食を目的に移動を行っている想定される。

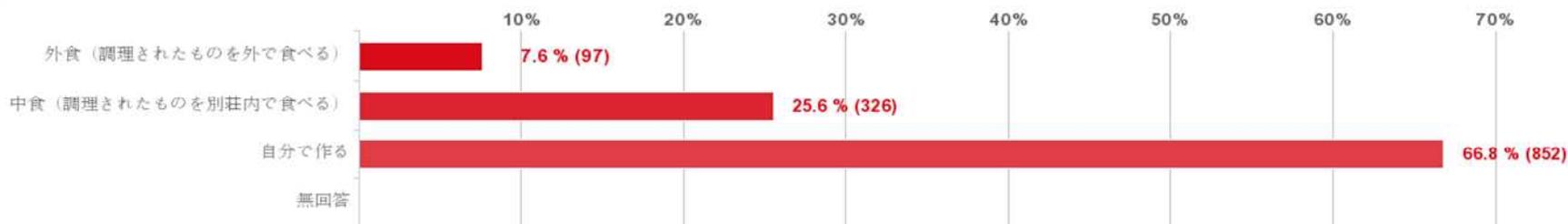
# 調査結果

## Q10. 滞在中の食事の取り方は？【朝昼夕、それぞれ回答】

(回答数: 1275)

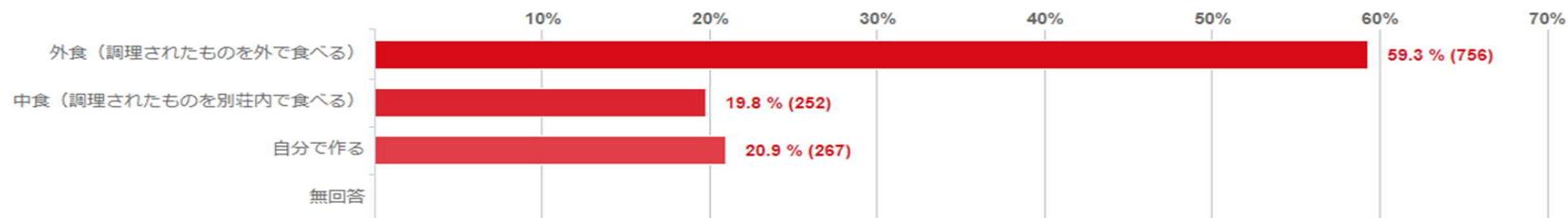
- ・外食（調理されたものを外で食べる）
- ・中食（調理されたものを別荘内で食べる）
- ・自分で作る

朝



昼

(回答数: 1275)



# 調査結果

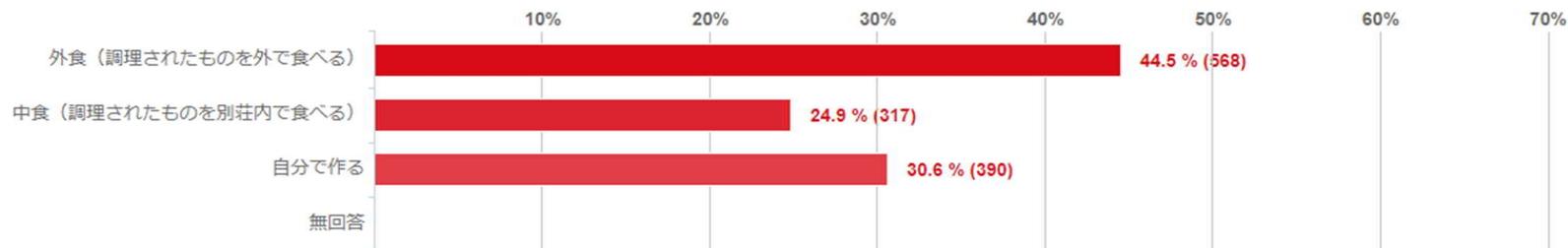
## Q10. 滞在中の食事の取り方は？【朝昼夕、それぞれ回答】

(回答数: 1275)

- ・外食(調理されたものを外で食べる)
- ・中食(調理されたものを別荘内で食べる)
- ・自分で作る

夕

(回答数: 1275)



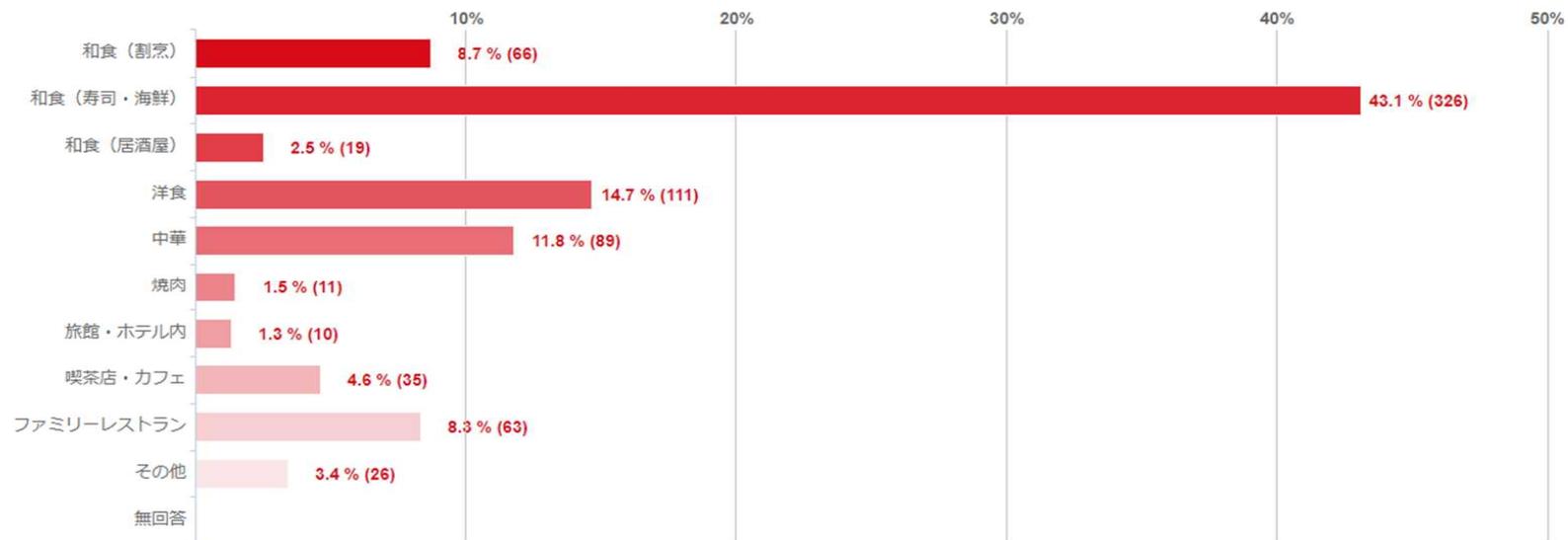
朝食は自分で作る方が約7割、昼食は約6割が外食で、夕食は外食が44.5%と買って別荘内で食べる層が24.9%。昼食と合わせて殆どが2食の外食を行う。又、昼は外食で、夜は別荘等で夜をゆっくり過ごす姿も伺える。

# 調査結果

Q11. (昼で外食を選んだ方)外食でよく行く飲食店は？

(回答数: 756)

- ・和食(割烹)・和食(寿司・海鮮)・和食(居酒屋)・洋食・中華・焼肉
- ・旅館/ホテル内・喫茶店/カフェ・ファミリーレストラン・その他



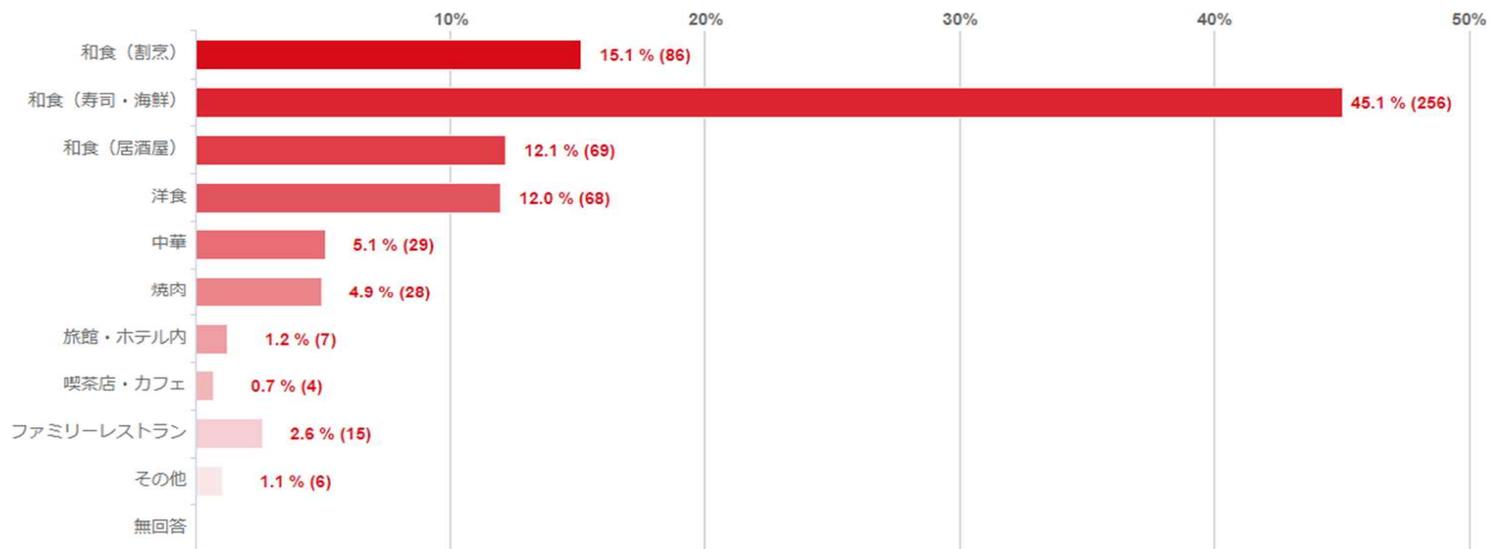
昼食での外食は43.1%と和食がとびぬけて多い。次いでは幅広く料理ジャンルや店舗形態が分散している。寿司・海鮮を目的に来訪していると仮説できる。

# 調査結果

Q12. (夕で外食を選んだ方)外食でよく行く飲食店は？

(回答数: 568)

- ・和食(割烹)・和食(寿司・海鮮)・和食(居酒屋)・洋食・中華・焼肉
- ・旅館/ホテル内・喫茶店/カフェ・ファミリーレストラン・その他

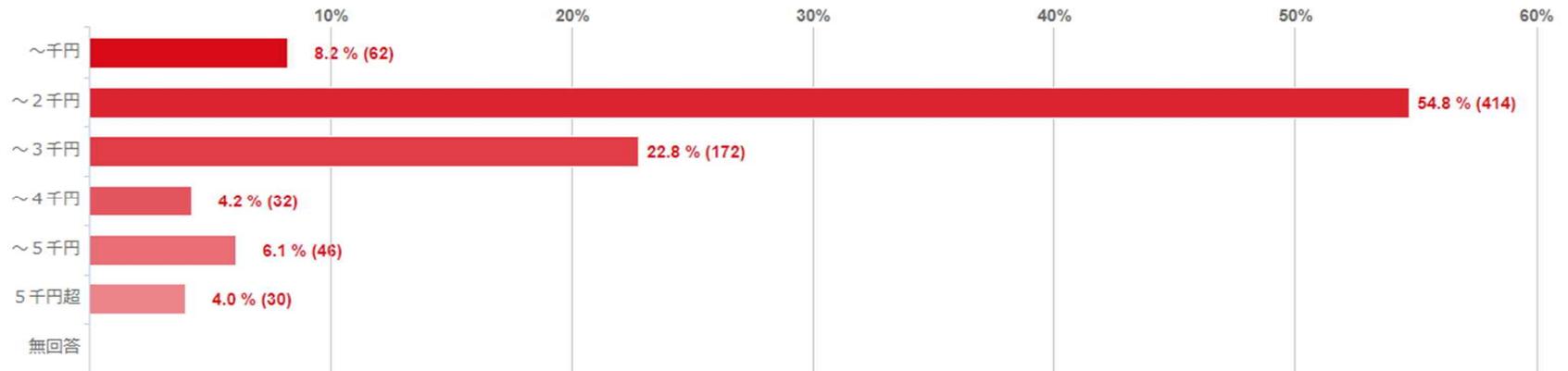


夕食での外食は、同じ和食系3種類で約75%を占める。昼食と比べると和食(割烹)と和食(居酒屋)が多くなりゆっくりと食事をする姿が伺える。

# 調査結果

Q13. (昼で外食を選んだ方)一人当たりの平均予算は？  
(回答数: 756)

・～千円 ・～2千円 ・～3千円 ・～4千円 ・～5千円 ・5千円超



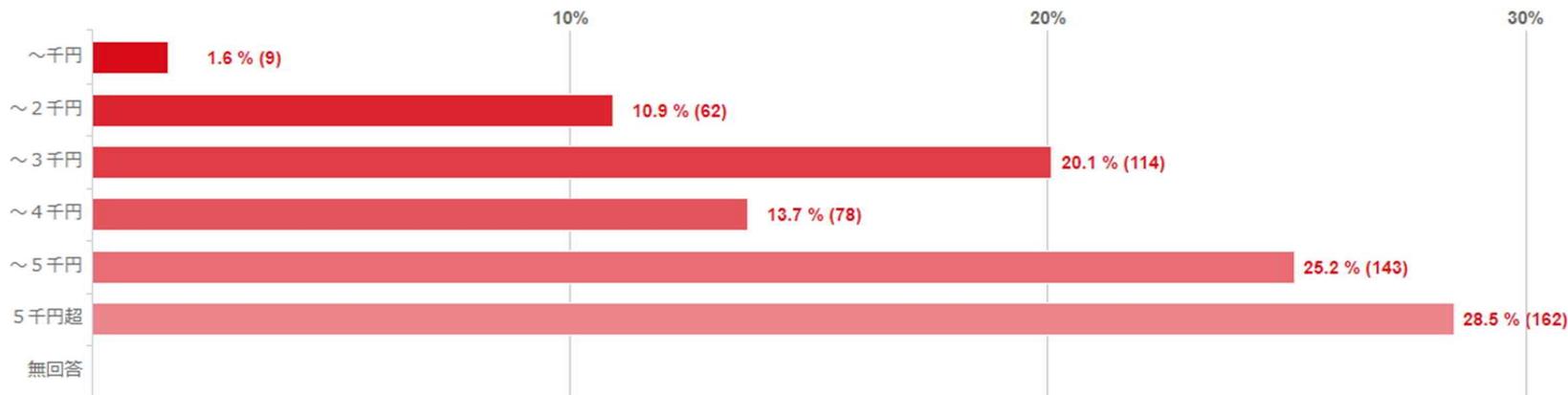
昼食の外食予算は千円超～2千円が54.8%、2千円超～3千円が22.8%で主要な予算帯である。  
昼食のこの予算帯の店舗は一般観光客と重複すると考えられ、混雑等の満足度を推しはかる必要がある。

# 調査結果

## Q14. (夕で外食を選んだ方)

(回答数: 568)

- ・一人当たりの平均予算は？
- ・～千円
- ・～2千円
- ・～3千円
- ・～4千円
- ・～5千円
- ・5千円超

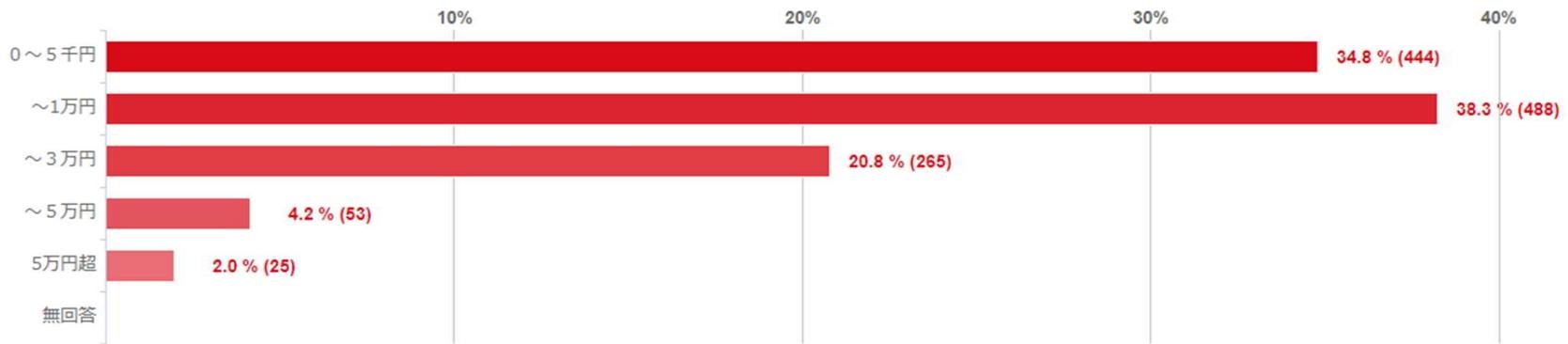


夕食の外食予算は5千円超が28.5%と最多。次いで4千円超～5千円の25.2%。夕食利用の多い和食系の店舗(割烹、鮨・海鮮・居酒屋)に相応した予算となっている。

# 調査結果

Q15. 滞在中に熱海市内で使う買い物、土産等の予算は？  
(回答数: 1275)

・ 0～5千円 ・～1万円 ・～3万円 ・～5万円 ・5万円超



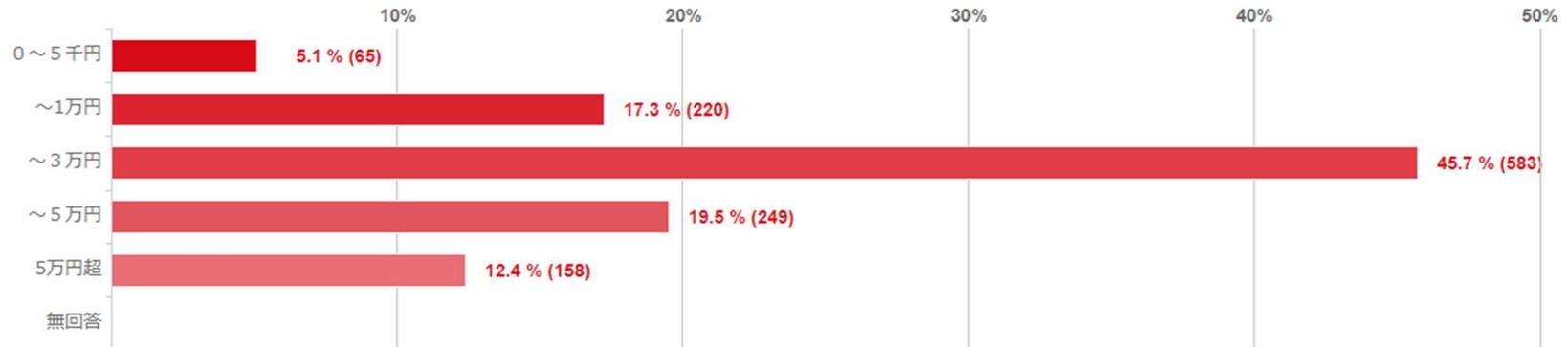
予算が5千円超～1万円が38.3%である。次いで0～5千円が34.8%、1万円超～3万円が20.8%である。別荘等所有者に応える品質の物品の不足、若しくは機会の不足が想定される。

# 調査結果

Q16. 熱海滞在の総予算はどれくらいですか？

(回答数: 1275)

- ・ 0～5千円
- ・ ～1万円
- ・ ～3万円
- ・ ～5万円
- ・ 5万円超



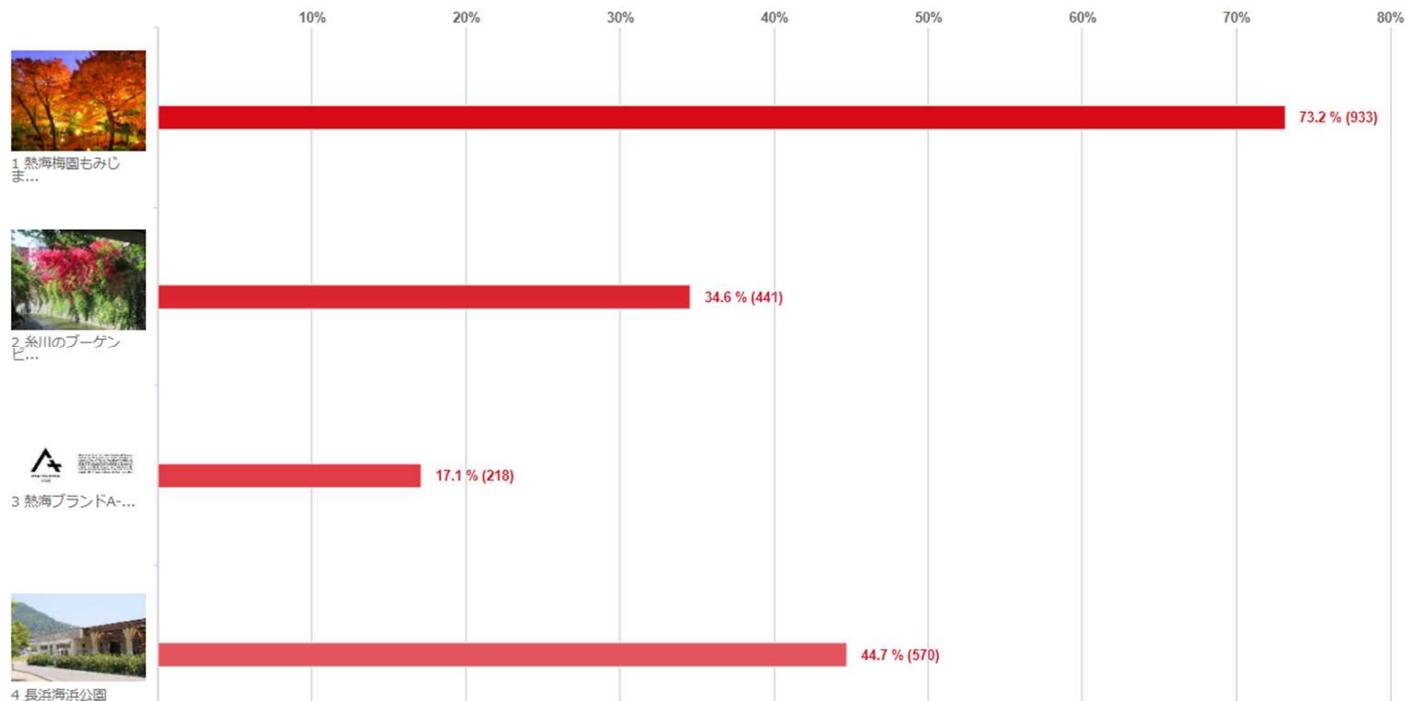
予算が1万円超～3万円が約45.7%である。次いで3万円超～5万円が約19.5%、5千円超～1万円が17.3%である。別荘等所有者は一滞在あたり合計30,000円前後の消費金額と想定される。

# 調査結果

Q17. 以下の熱海に関する画像のうち、知っているものや見たことがあるものにチェックしてください。

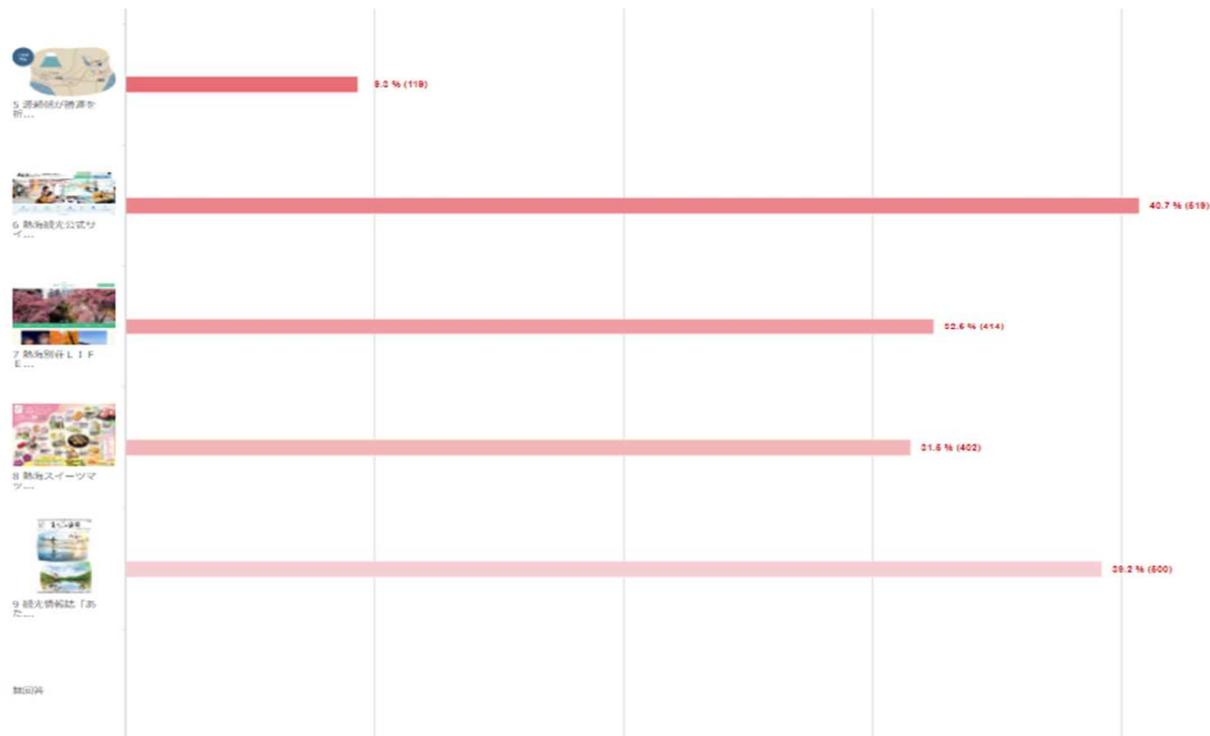
(回答数: 1275)

- 1熱海梅園もみじまつり 2糸川のブーゲンビリア 3熱海ブランドA-PLUS  
4長浜海浜公園(うみえ～る長浜) 5源頼朝が勝運を祈った「三社詣巡り」  
6熱海観光公式サイトあたみニュース 7熱海別荘LIFEサイト 8熱海スイーツマップ  
9観光情報誌「あたみ通信」 10無回答



# 調査結果

Q17. 以下の熱海に関する画像のうち、知っているものや見たことがあるものにチェックしてください。



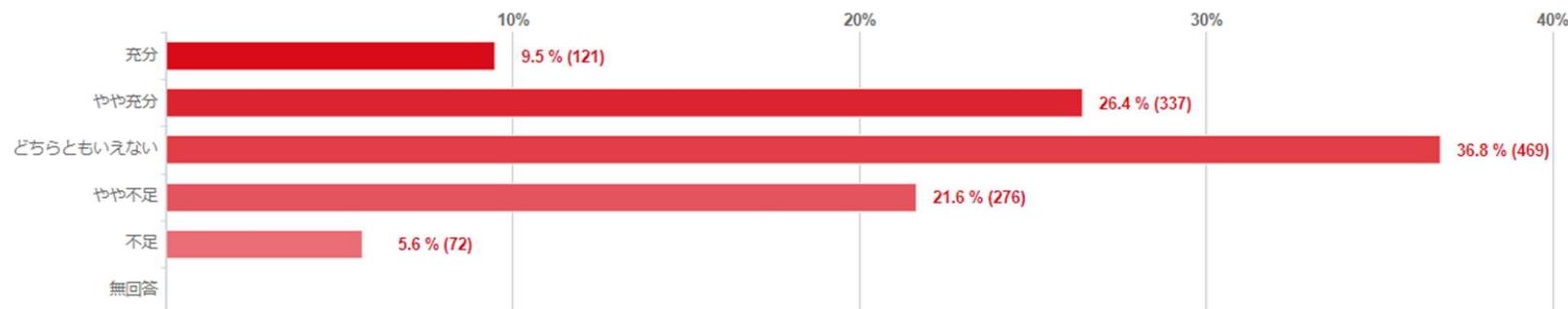
熱海もみじまつりや、長浜海浜公園、ブーゲンビリアへの関心が高い。インターネットを活用しているがやあたま通信など紙媒体も利用も利用、認知しており、まちへの関心が伺える。

# 調査結果

Q18. 熱海滞在に必要な情報は充分得られていますか？

(回答数: 1275)

・充分 ・やや充分 ・どちらともいえない ・やや不足 ・不足 ・無回答



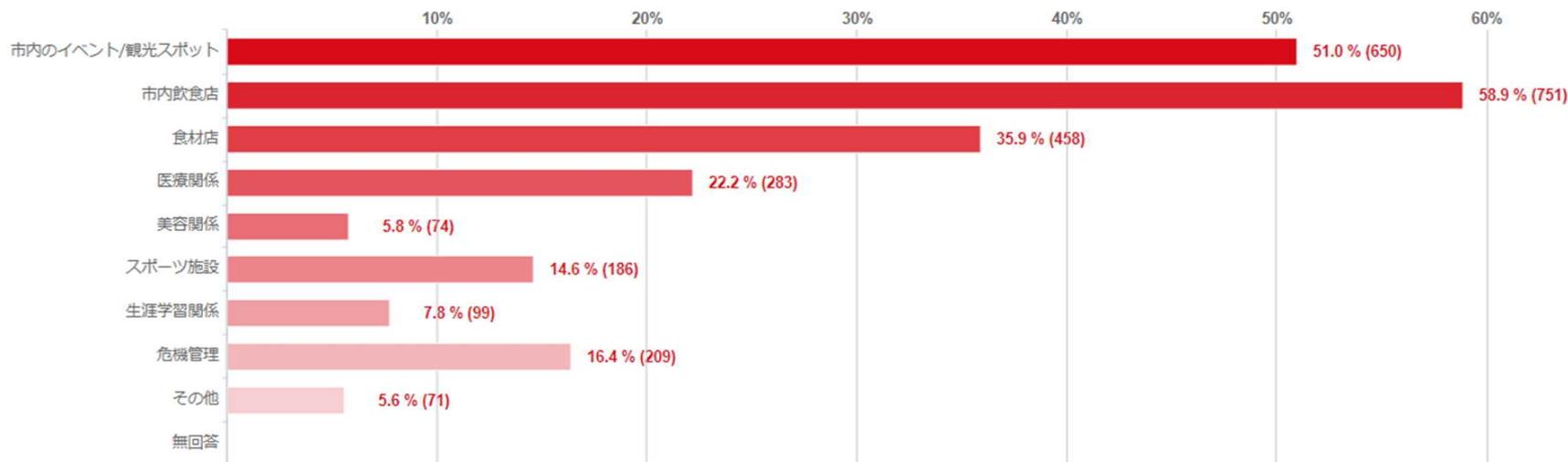
「どちらともいえない」層が中心で「やや充分」「やや不足」が大半数を占めている。情報量は満足をしていない姿が見られる。

# 調査結果

Q19. 別荘等に滞在するにあたり、不足している情報、より必要と感じる情報を選んでください。

(回答数: 1275)

- ・市内のイベント/観光スポット
- ・市内飲食店
- ・食材店
- ・医療関係
- ・美容関係
- ・スポーツ施設
- ・生涯学習関係
- ・危機管理
- ・その他

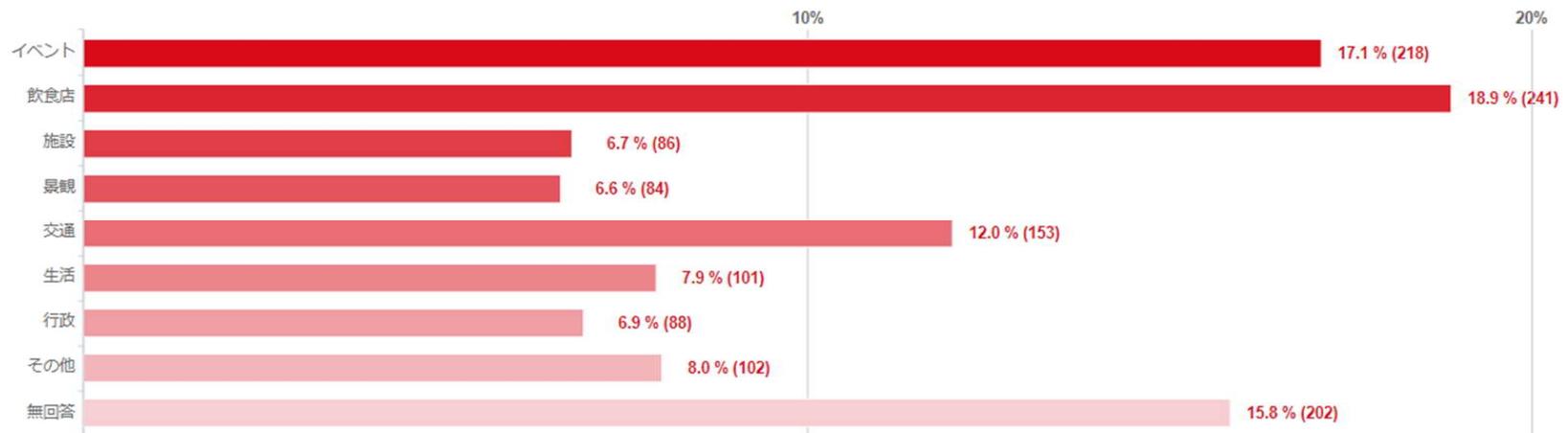


「どちらともいえない」層が中心で「やや充分」「やや不足」が大半を占めている。情報量は満足をしていない姿が見られる。ニーズは飲食店とイベント情報圧倒的に高く、熱海への来訪数は多くても情報が行きわたってなく、細かく新しい情報を求めていると考えられる。

# 調査結果

Q20. 自由に感想やご意見を記述ください。※テーマを選択し、次の項目で記述  
(回答数: 1275)

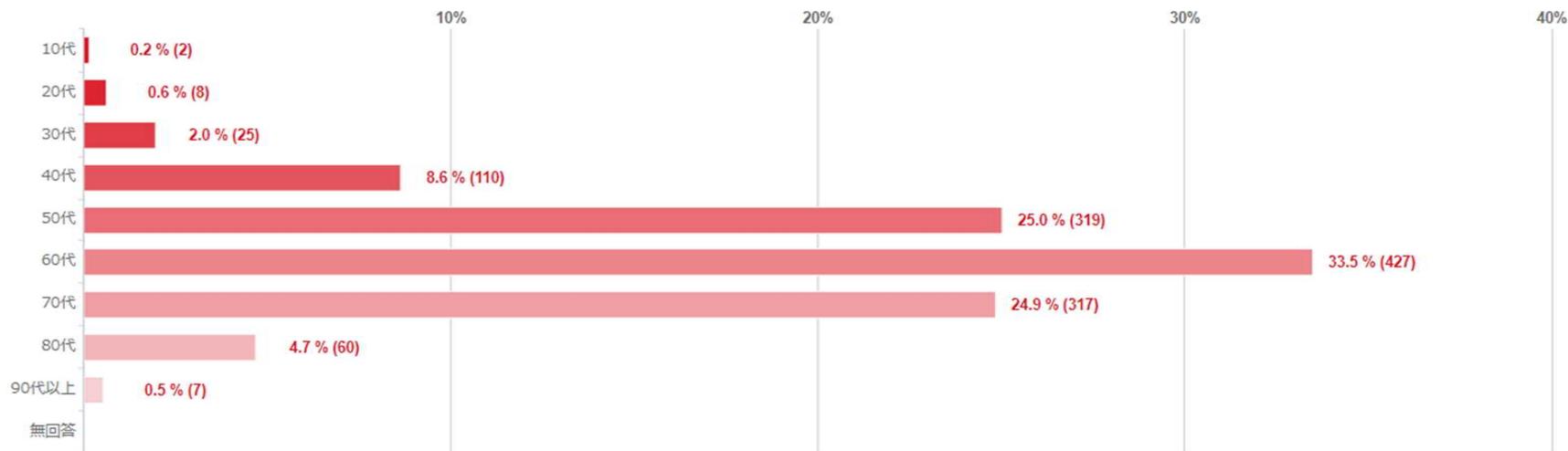
・イベント・飲食店・施設・景観・交通・生活・行政・その他



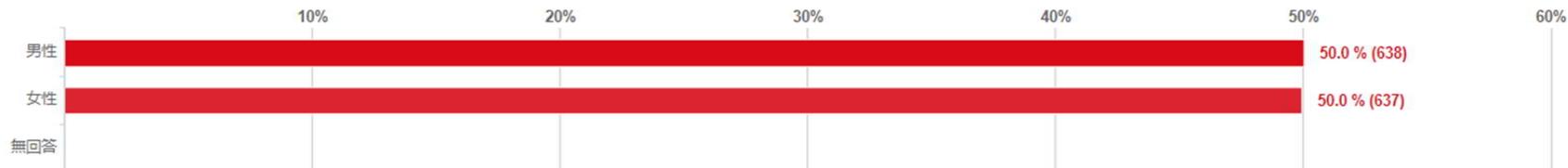
ニーズ設問と同じく、「イベント」「飲食店」に対する感想や意見が多い。  
今後、必要な情報提供内容だと考えられる。

# 調査結果

## Q21. 年代 (回答数: 1275)



## Q22. 性別 (回答数: 1275)



# まとめ

---

## 【まとめ】

- ・コロナ禍の中で熱海に来訪する回数が減少している。しかし消費金額は上昇している。
- ・滞在者:60歳以上で夫婦での滞在者が多い。
- ・交通手段は、殆どの方が自家用車を利用し、滞在中の移動も自家用車利用が多い。
- ・滞在日数は、2泊3日で月1度程の来訪が最多。
- ・滞在の目的は、静養と温泉。次いでイベント。
- ・移動は殆ど市内滞在。出かけても近隣の市。
- ・観光は「花」「イベント」を目的にしている。(熱海もみじまつりや、長浜海浜公園、ブーゲンビリアに関心が高い)
- ・滞在中の食事は和食をメインにしており、昼食と夕食を外食している方が多い。
- ・外食の予算は、昼食が1回2,000円、夕食が5,000円超の方が多く、滞在中は合計30,000円を消費している。
- ・ニーズ又は、感想に対して「イベント」「飲食店」に対する項目が多く、市内の情報を欲している。
- ・毎年、数回来訪をしても観光イベントの情報、飲食の情報が不足している。
- ・今後、必要な情報提供として「市内のイベント・観光スポット・市内飲食店」の情報発信が必要だと考えられる。
- ・他のコンペティターとなる温泉地との差別化として「イベント・花火」が大きなキーワードとなりえる。